

学年

教科等

単元等

活用アプリ

小5

理科

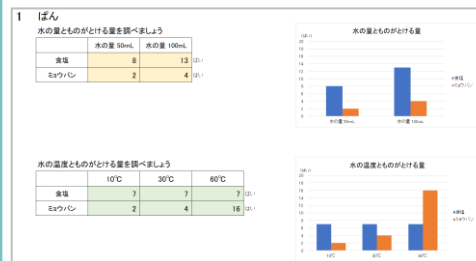
物が水にとける量の限度

表計算ソフト

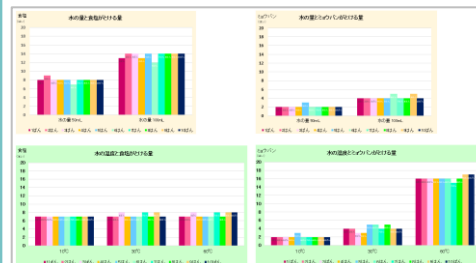
授業  
内容

ものが水にとける量を調べよう

ワークシート例



実験結果の全体集約例



準備：

- ・実験結果を入力するワークシート用ファイルを準備する。
- ・ワークシート用のファイルを共同編集できる場所に保存する。
- ・グループでの役割分担（計測・入力など）をしておく。
- ・はかる単位（計量スプーンすり切り1杯が溶けきれたら1杯）を確認しておく。

授業の流れ：

1. 水50mLに食塩を入れ、何杯とけたか、グループのワークシートを開き、記録する。
2. 水50mLにミョウバンを入れ、何杯とけたか、グループのワークシートに記録する。
3. 同様に、水100mLに食塩を入れ、何杯とけたか記録する。
4. 同様に、水100mLにミョウバンを入れ、何杯とけたか記録する。
5. グループの結果を見て、気付いたことを各自ノートなどに記録し、意見交流をする。
6. 各グループの結果を集約したグラフを見て、わかったことをまとめる。
7. とける量を増やすにはどうすればよいか意見を出しあい、次の実験につなげる。
8. 温度が10℃・30℃・60℃の水に、食塩を入れ、何杯とけたか記録する。
9. 同様に、10℃・30℃・60℃の水に、ミョウバンを入れ、何杯とけたか記録する。
10. 1～4の実験の結果と比較して気付いたことを、グループで意見交流をする。
11. 全体の結果を見て各自わかったことをまとめる。

※8からの実験は授業を分けて行い、ワークシートの続きに記入することを想定

サポータ  
おすすめ  
ポイント

- ・数値を入力し反映されたグラフを確認することで、共通点、相違点に気付くことができます。
- ・共同編集機能を使ってグループごとの結果を集約することで、共有して考察する時間の確保ができます。